



黒崎まちの駅  
山中秀夫さん

黒崎宿みち再生の会  
水口鉄昭さん

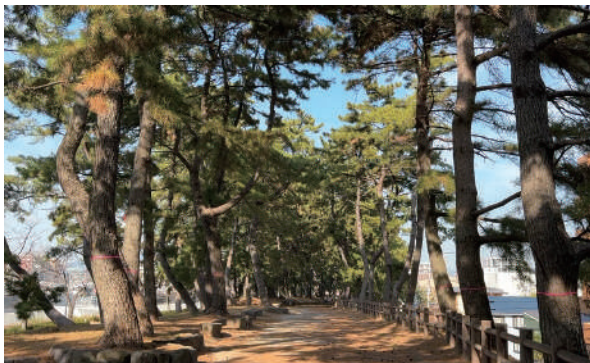
長崎街道を愛する会  
(チーム松並木)  
武智充さん

黒崎の  
案内人の  
皆さま

- 長崎街道を愛する会  
黒崎の史跡や施設を活用し、後世へ伝えています。
- 黒崎まちの駅  
来街者のおもてなしや地域の歴史を伝えています。
- 黒崎宿みち再生の会  
黒崎の史跡や歴史を資料にまとめています。

ゆっくり歩き  
おもてなしガイド

黒崎編



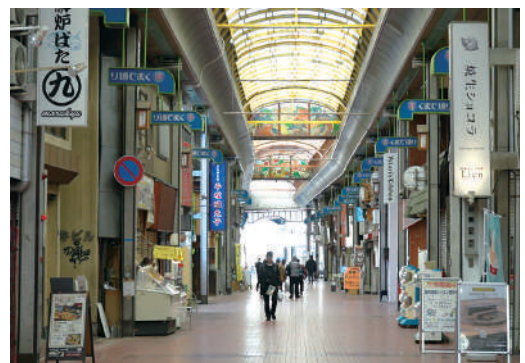
今日は、黒崎のまちづくりに尽力されている皆さんに、江戸の風情が今も残る曲里の松並木から黒崎を案内していただきました。松並木では、月に一度、ボランティアの皆さんが清掃活動をされています。

(武智さん) ここには、約500本の松が連なっています。長崎街道で現在も松並木が残っているのは、この場所だけです。明治時代以降、減ってしまった松を企業や行政が植樹し、今の姿へと変わりました。ここには、江戸時代から2本の松が残っているんですよ。

山中さん水口さんのミニ情報

山中さんと水口さんは、長崎街道にあたる熊手銀天街で商売を営む同志でした。小・中学校の同級生でもあるお二人は、長きにわたり長崎街道の魅力を伝える活動を続けてられています。

北九州風景街道（長崎街道）推進協議会は団体・機関の官民協働で活動を行っています。



松並木を抜け、長崎街道をたどって、熊手銀天街へとやってきました。

(山中さん) 昔、この通りは「安川通り」と呼ばれていましたが、道の拡幅にあわせて名称を公募し、長崎街道をPRする意味を込めて「宿場通り」という名が選ばれました。また、黒崎小学校もリニューアルの際に、宿場町を思わせる意匠が施されています。

### Q 黒崎宿の見どころは？

(水口さん) この場所はおかつて「人馬引継ぎ所」と呼ばれ、宿などが立ち並び、人や馬、荷物の受け渡しが行われていた場所です。黒田藩の時代には商業地として路面店が立ち並び、その賑わいが現在の商店街の原形となりました。ここは江戸時代から商いで賑わった地域だったといわれています。

(山中さん) 現在は埋め立てられています。以前は川が流れ、

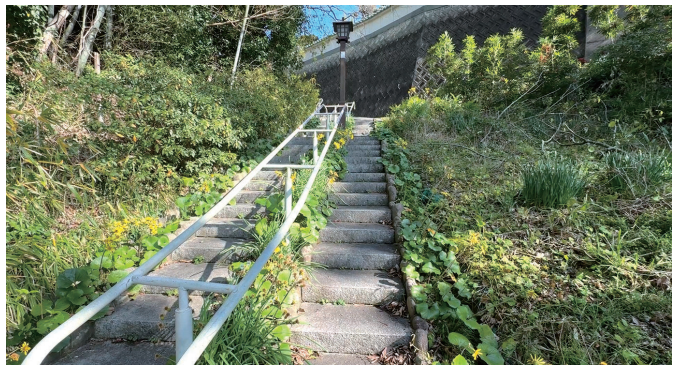
馬を洗ったとも伝えられています。その川の名残として、当時の欄干が再現されています。

それでは、黒田二十四騎をお祀りする春日神社へご案内します。

※「春日神社」の詳細は動画でお楽しみください。

歴史や史跡をたどりながら黒崎を出発し、長崎街道を進んで八幡西区石坂の「立場茶屋」へと向かいました。

(堀江さん) まずご紹介するのは、「石坂の急坂(きゆうはん)」



たてばちやいちじょうや  
立場茶屋銀杏屋管理運営委員会  
堀江日出男さん

### 立場茶屋銀杏屋管理運営委員会

福岡県・北九州市の指定文化財「立場茶屋 銀杏屋」の維持管理や案内、イベントなどを開催しています。

です。名のとおり急勾配の坂で、大名であっても籠を降りて歩いたと伝えられています。その先にある銀杏屋で休息を取ったと言われています。

### 休憩所だったのです

主屋に上がると、床が一段高く設えられた「上段の間」があります。ここは大名や長崎奉行など、身分の高い人々が休んだ部屋で、床の間や平(ひら)書院造りといった格式ある意匠が残されています。長崎街道沿いでは、こうした構造が現存するのはここだけで、非常に貴重な建築です。

また、銀杏屋は1836年(天保7年)の火災の後に再建されたことが資料から確認できます。象徴であった大きな銀杏の木もこの火災で被災し、現在は根株が四つに分かれて残り、その歴史を目にすることが出来ます。

### Q 次の世代に向けてのメッセージ

まずは、ぜひ遊びにいらしてください。様々なきっかけで長崎街道の存在を知っていただき、

共にこの場所を盛り上げ、守り継いでいく後継者へとつながってほしいと願っています。



黒崎ガイドは  
こちらからご覧いただけます

